



交通安全情報

やまなし

CONTENTS

- (2) 新年のご挨拶
平成26年使用交通安全年間スローガン
冬道安全運転の基本をしっかり実践!

- (3) 第6回高齢者交通安全大会の開催、二輪車安全運転指導員講習会の開催、「運転経歴証明書」の発行に伴う県手数料助成、チャイルドシート無料貸出し、TSマーク関連
(4) 各地区交通安全協会の活動

一般財団法人 山梨県交通安全協会
発行所
山梨県交通安全活動推進センター
TEL 055-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂 847
ホームページ
<http://www.yamanashi-ankyo.jp>

187号

県民の皆様と共に90周年一般財団法人山梨県交通安全協会

謹賀新年



撮影者 高根町 布川 謙様 (清里からの富士)

新年あけましておめでとうございます。県民の皆様には、ご家族お揃いで、希望に満ちた平成27年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当山梨県交通安全協会は、大正13年に発足以来90年にわたり県民の皆様と力を合わせ交通安全活動を推進してまいりました。

こうした中で、平成10年からは山梨県公安委員会から道路交通法に基づき「山梨県交通安全活動推進センター」の指定を受け、法律に規定されている交通安全広報・啓発活動や交通安全教育など幅広い交通安全活動を推進しているところであります。

皆様には、当協会の存立意義を正しく理解され、平素より各種業務を推進していただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の県内における交通事故は、依然として65歳以上の高齢者やシートベルト非着用者による死亡事故が高い割合で推移し、また、二輪車による死亡事故も急増、交通死亡事故多発警報が発令されるなど継続した交通安全諸対策の重要性を痛感する状況がありました。

このような中、当協会といたしましては、交通事故のない安全で住みよい地域社会の実現を目指し、山梨県交通安全活動推進センターとして、反射材の配布や実践指導、子供自転車大会や二輪車安全運転大会の開催、飲酒運転根絶運動、子供や高齢者の交通安全教室の開催、チャイルドシート無料貸出し、運転経歴証明書の申請手数料の全額補助等々の諸活動を通じ、県民の皆様や地域社会の発展と福祉の向上に寄与してまいる所存であります。

皆様には、なお一層の奮闘をお願い申し上げます。

年頭にあたり、本年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう心からご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



一般財団法人 山梨県交通安全協会
会長 小澤 建雄

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。県民の皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、年間を通じ、各地域での各種交通事故防止活動にご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、昨年の山梨県内の交通事故発生状況につきましては、発生件数、負傷者数は大幅に減少したものの、交通死亡事故については、二輪車による事故の増加等により、年間の交通事故死者数が前年を大きく上回るなど、非常に厳しい結果となりました。

特に全交通事故死者数に対する高齢死者数については、近年、約半数を占めている状態が続いているうえ、高齢化率や高齢者の運転免許保有率が全国平均を上回っている本県においては、より一層の高齢者対策の推進が求められているところです。

県警察では、平成27年が最終年となる第9次山梨県交通安全計画の目標である年間死者数35人未満、交通事故件数5,300件以下の達成はもとより、交通事故総量を減少させ、県民のみならず、仕事や観光で山梨県を訪れる方々にも安全・安心を実感してもらえる山梨の実現に向け、重大な交通事故に直結する悪質・危険性の高い交通違反取締りを実施するとともに、安全教育や街頭活動の強化、実態に則した合理的な交通規制の実施など、総合的な交通死亡事故抑止対策を強力に推進していく所存であります。

交通事故のない安全で快適な交通社会を実現することは、県民すべての願いであります。皆様方には、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践により、交通事故による犠牲者を一人でも少なくすることができますよう、今後ともご協力をお願いいたします。



山梨県警察本部
交通部長 松原 茂雄

平成27年使用交通安全年間スローガン

内閣総理大臣賞（最優秀作）



運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

早めから つけるライトで 消える事故

歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

外出は 明るい笑顔と 反射材

こども部門

ルールむし しん号むしは わるいむし

冬道安全運転の基本をしっかり実践！

交差点の手前では、先々の状況に目配りし、前車の減速・停止を予測

- 前車のブレーキランプだけを頼りにして追従していると、ブレーキのタイミングが遅れ、追突する危険があります。



交差点には、いつでも減速できる態勢で接近

- 交差点やその付近の路面は非常に滑りやすく、交差車両が止まり切れずに滑り込んでくることがあります。



郊外の片側1車線の道路では、意識的に「キープレフト」を実践

- 積雪で道幅が狭くなり、センターラインも見えなくなっているため、無意識のうちに道路の中央に寄って走行しがちです。



カーブでは、対向車を予測して手前で必ず減速

- 予想外の対向車に驚き、急ブレーキや急ハンドルの操作をしてスリップし、対向車と正面衝突する危険があります。



第6回高齢者交通安全大会の開催

高齢者の交通事故防止を図る目的で、昨年10月20日、山梨県総合交通センターにおいて高齢者交通安全大会を開催しました。

大会には、県下各地域から65歳以上の高齢者等約100名が参加しました。警察本部交通企画課の担当者による交通講話や学習ルームの体験等を行い、更に、各地区交通安全協会から1チーム（選手3名）が出場し、自転車で交通ルールの基本を重点に競技を実施しました。

参加者には、地域で開催される交通安全教室等の指導者となつてもらうため「交通安全リーダー証」を交付して終了しました。



二輪車安全運転指導員講習会の開催

当協会では、昨年11月12日、山梨自動車学校において、二輪車指導員30名を対象に二輪車による交通事故防止と指導力の向上を図る目的で講習会を開催しました。講習会では、長年交通事故防止に功労のあった指導員の表彰を行った後、二輪車の死亡事故が多い事から、山梨自動車学校教習コースにおいて実技指導を重点とした講習を行いました。



「運転経歴証明書」の発行に伴う県手数料助成

当協会では、高齢運転者の交通事故防止対策の一環として、平成24年7月から、運転免許証を自主返納される65歳以上の高齢者の方が「運転経歴証明書」の交付を申請される場合の手数料(1,000円)を助成しております。運転経歴証明書は、公的な身分証明書や本人確認用書類としても利用できます。昨年1月から11月までの助成件数は813件（一昨年中は668件）がありました。

新しい運転経歴書の見本



各地区交通安全協会の活動



高齢者死亡事故抑止緊急対策に伴う街頭活動の実施



注意看板の設置



街頭指導活動の実施



街頭指導活動の実施



街頭指導活動の実施



高齢者グランドゴルフ大会の開催



街頭指導活動の実施



シートベルト衝撃体験の実施



街頭指導活動の実施



県下一斉マラソンに伴う交通整理の実施



高齢者交通安全教室の開催



高齢者に対する道路横断指導

交通安全協会会員入会のお願い

山梨県交通安全協会は、運転免許証の取得・更新時に交通安全協会への入会をお願いしております。協力を頂いた方の会費は、悲惨な交通事故を一件でも減らすために、交通安全広報・啓発、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者交通安全講習等の各種交通安全活動の経費として活用させて頂いております。

交通安全協会会員の皆様への支援

- 弁護士無料法律相談
- 交通事故見舞金制度
- 免許証ケース及びセーフティードライブマップの進呈
- Eメール会員へのサービス

詳細は山梨県交通安全協会(TEL. 055-280-5550)にお問い合わせ下さい。

「ハンドルキーパー運動」推進中

84歳 山梨県民の願い!

飲酒運転根絶

ハンドルキーパー運動の推進に協力しています

ハンドルキーパー運動